Creative Enzymes®

メチル化チオールコエンザイムMメチルトランスフェラーゼ

Cat. No. EXWM-1855

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	メチル化チオール（メタンチオール、ジメチルスルフィド、3-S-メチルメルカプトプロピオン酸など）からのメタン生成に関与する酵素は、基質からメチル化チオール特異的コリノイドタンパク質（MtsB）のコバルト補因子へのメチル基の転送と、その後コリノイドタンパク質から補酵素Mへのメチル基の転送という二つの連続したステップを触媒します。ほとんどの他のメタン生成基質では、このプロセスは二つの異なる酵素によって行われます（例えば、EC 2.1.1.90、メタノール-コリノイドタンパク質Co-メチルトランスフェラーゼ、及びEC 2.1.1.246、メチル化メタノール特異的コリノイドタンパク質:補酵素Mメチルトランスフェラーゼ）。コバルトは、メチル化の際にCo(I)状態からCo(III)状態に酸化され、脱メチル化の際に再びCo(I)形態に還元されます。
別名	mtsA（遺伝子名）

製品情報

形態	液体または凍結乾燥粉末
EC番号	EC 2.1.1.251
反□	メタンチオール + コエンザイムM = メチル-CoM + 硫化水素（全体反□）；(1a) メタンチオール + a [Co(I) メチル化チオール特異的コリノイドタンパク質] = a [メチル-Co(III) メチル化チオール特異的コリノイドタンパク質] + 硫化水素；(1b) a [メチル-Co(III) メチル化チオール特異的コリノイドタンパク質] + コエンザイムM = メチル-CoM + a [Co(I) メチル化チオール特異的コリノイドタンパク質]
備考	このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5□9週間です。ご要望に□じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法	短期間は +4 ℃ で保管してください。長期間保管する場合は -20 ℃~-80 ℃ で保管してください。